

望遠鏡観測部門報告 Report of Telescopic Meteor observations in April 2014. No.362

担当幹事 殿村泰弘 (Tonomura Yasuhiro) 宮城県富谷町 (Tomiya-machi Miyagi-pref, Japan)

2014年4月の望遠鏡観測の結果を(表-1)に示します。今月は、寺迫氏からの報告がありました。

観測者 Observer	観測地 Locality	夜数 Night	時間 Time	流星数 Meteor			備考 Remarks
				Plot	S'n	Total	
寺迫 正典 Terasako Masanori	静岡県浜松市北区 Hamamatsu Shizuoka	2	120	-	27	27	40cm×57 1.5° L.T.
2014年4月計		2	120	0	27	27	HR 13.5

(表-1) 2014年4月望遠鏡観測結果

Table 1 Summary of the Telescopic Meteor observations in April, 2014

2014年4月の出現状況

● 出現数状況

2014年4月の出現数変化を(表-2)に示します。

						UT																	
日	開始	JST	終了	JST	分	中央時	観測方向			Plot	Seen	Total	HR	Mag	See	CI					備考		
4	27	33	28	33	60	4.794	Lyr,Cyg,Vul,Peg		-	14	14	14.0	12.5	G			40cm L.T.*57	寺迫 (Terasako. M)					
6	27	5	28	5	60	6.774	Lyr,Cyg,Vul,Peg		-	13	13	13.0	12.0	rG			40cm L.T.*57	寺迫 (Terasako. M)					
	2	Night			120	Min.			0	27	27	13.5											

(表-2) 2014年4月の望遠鏡流星の出現数変化

Table 2 Telescopic Meteors Observational data in April, 2014

4月の観測報告を見ると、寺迫氏が2夜しか観測していませんが、両夜とも HR13~14 もの出現を捉えています。

● 光度分布

2014年4月の望遠鏡流星の光度分布は、(表-3)に示すとおりです。

	-5.0	-3.0	-2.0	-1.0	0.0	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0	11.0	12.0	13.0	L-Mag	Total	Avg Mag.
寺迫 (Terasako. M)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	13	9	0	12.0 - 12.5	27	11.11
Total	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	13	9	0		27	11.11

(表-3) 2014年4月の望遠鏡流星の光度分布

Table 3 Magnitude distributions of the Telescopic Meteors in April, 2014

寺迫氏の2夜の光度分布を(表-4)に紹介します。暗い流星を多く観測していることがわかります。

Date(UT)	-5.0	-3.0	-2.0	-1.0	0.0	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0	11.0	12.0	13.0	L-Mag	Total
4.794														1	2	5	6		12.5	14
6.774															2	8	3		12.0	13
Total	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	13	9	0		27

(表-4) 2014年4月の望遠鏡流星の光度分布(寺迫氏のデータ)

Table 4 Magnitude distributions of the Telescopic Meteors in April, 2014

(M.Tarasako Obs Data)

● 幹事から

4月は天候に恵まれなかったために、寺迫氏からの観測報告のみでした。しかし少ない観測報告でも寺迫氏の結果は特筆されます。年間を通じての結果をまとめることによって、9等以下の微光流星の出現状況が明らかにできることと思います。

寺迫氏から昨日5月分の観測報告をさっそく寄せていただきました。観測報告に添えられたメールには、氏の微光流星に関するコメントとともに、観測機材の画像も見せていただきました。氏の観測に対する観測に対する姿勢によって、このような結果が得られていることを改めて認識しました。これくらいの努力をしないと彗星発見もおぼつかないのかとも思いました。

いずれ氏からこれまでの観測結果についての見解が示されると思います。

(2014年6月2日記)